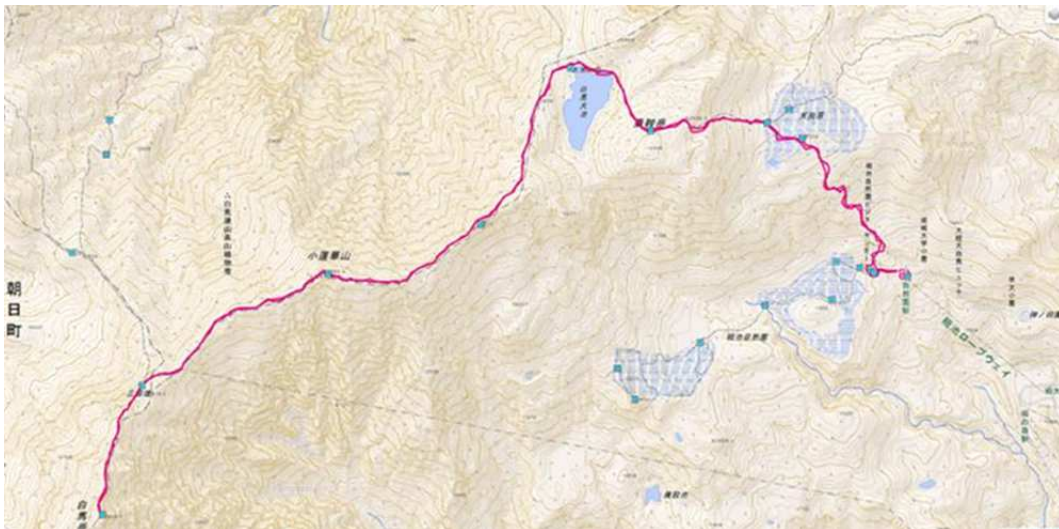
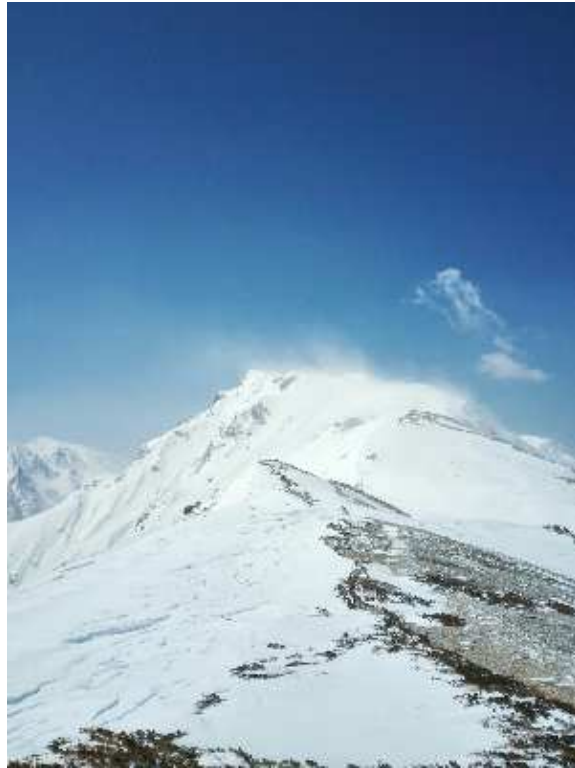


デンソー山岳部 2017年度 春山合宿A報告書

■山城 北アルプス 後立山連邦 白馬岳

■日程 平成29年4月29日～4月30日

■メンバー 小田修三（CL, 記録）、館谷昌弥（SL, 食糧）、亀山誠（会計, 気象）



第1日 : 4/29 (土) 曇りのち雷 行動=2H55M

【行動記録】 刈谷 (05:00) — 梅池ロープウェイ (10:00) — 梅池自然園 (11:20) — 天狗原 (12:40) — 白馬乗鞍三角点 (13:30) — 白馬乗鞍山頂 (13:45) — 白馬大池テン場 (14:15)

4/29の朝一に刈谷を出発。恵那、梓川SAで休憩を挟み梅池高原へ。道中の天候は悪くないが山は荒れるとの予報。梅池スキー場でゴンドラとロープウェイを乗り継ぎ一気に高度を稼ぐ。梅池自然園で注意事項等一通り聞いた後、いよいよ出発。はじめこそ曇りの状態だったがみるみるうちに天気は崩れていき雪が降ってきた。大きく崩れないうちに切り切りたいたいものだと考えていたが、そんなにうまく事は運ばない。天狗原を過ぎた辺りから雷鳴が轟き始める。稲光から雷鳴までそんなに間のないものもあり、かなりのいやらしさである。様子を見ながら何とか白馬大池山荘まで辿り着いた。3年前に来た際は山荘の上部

がある程度見えていたが今年は全くと言って良いほど出ていない。山荘の頂部が見えるのみである。今年は雪が多いのだなと感じつつ稜線上は如何ほどか、と思いを馳せる。今日の夜は館谷シェフの鍋である。毎度彼の料理には外れがない。ビールで乾杯しつつ、合宿の成功を祈願した。(記:小田)

第2日 : 4/30(日) 晴れ 行動=9H20M

起床(3:00)→大池発(4:50)→アイゼン装着(5:30)→船越ノ頭(6:00)→一本(6:20)→小蓮華山(7:20)→一本(8:10)→撤退(9:10)→一本(9:25)→一本(10:10)→一本(11:00)→大池(11:45)→梅池自然園(14:10)

夜中は風が強く、テントはかなり吹かれておりうるさかったが、思いの外熟睡できた。起床後外に出ると、星空が広がっている。風は相変わらず強いが、天気は良さそうだ。昨夜の鍋の残りとラーメンを頂き、手早く撤収し、予定より10分早く、4:50に出発した。尾根に取り付くと、すぐに後ろから朝日が登ってきた。美しいモルゲンロートに思わず写真を撮る。天気は非常によく、周りには絶景が広がっているが、やはり稜線上は風が強く、重く大きい縦走装備が左右に振られ、非常に体力を消耗した。

顔を打ち付ける雪に耐えられず、小蓮華山にてゴーグルを装着。白馬岳手前の小ピークでは20m/secを越えるような風が常時吹いており、ここまで抜きつ抜かれつだったB隊が撤退を決めた。

互いの無事を祈りながら別れ、進もうとするも、やはり風が強い。先に続く稜線も風で雪が舞っている。現状、前進することは厳しく、天気予報を見ても今後風はさらに強まるようだ。3人で相談し、9:10にA隊も撤退を決めた。何度か休みながら大池まで戻ると、B隊がテントを撤収していた。撤収完了を待ち、そろって下山開始。

乗鞍岳を過ぎてからは何か所かシリセードのポイントがあり、楽しみながら下りることができた。ロープウェイとゴンドラを乗り継ぎ、下山完了。梅の湯で汗を流した後、帰路に着いた。

<装備所見 小田>

縦走のため、なるべく軽量化を図るため、ガスボンベも2缶にしていたが、縦走途中で荒れた際の沈殿も考え、一日目の終わりにB隊から1缶回収しておいた。行程でのトラブルも見据え装備構成も考えていく必要があると再認識した。

<食糧所見 館谷>

29日夜 塩鍋

30日朝 鍋の残り+ラーメン、パン

以下未達

30日夜 チャーハン、厚揚げと挽肉の味噌あんかけ

1日朝 パン、スープ

1日夜 和風パスタ、鯖の味噌煮、卵スープ

2日朝 雑炊

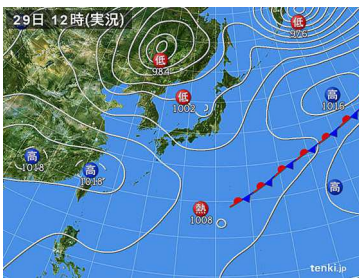
その他 コーヒー、紅茶、お茶、コンデンスミルク、おつまみ

・冬合宿に続き、満足度を優先したメニュー&量であり、厳しい山域に行くときは軽量化も考えなければならぬと反省。



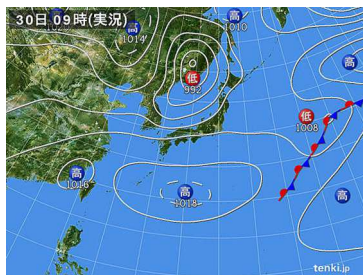
<気象 亀山>

第1日目(4/29 12:00)

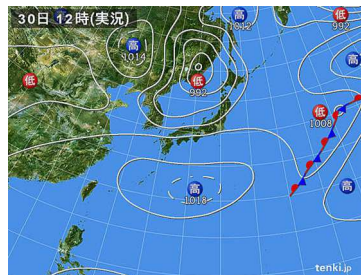


曇りのち雪。雷も発生。

第2日目(4/30 9:00)



(4/30 12:00)



高気圧の淵に入っており天候はよかったが強風。

<会計報告 亀山>

食糧 ¥10,500

高速 ¥7,760

交通費 ¥14,900

リフト・ロープウェイ ¥11,520

合計 ¥44,680

<リーダー所見>

3年前の撤退のリベンジを果たすつもりが、強風で体力を削られ無念の撤退。白馬までも辿り着けず、改めて自然には逆らう事はできないなと思知らされた。しかし、ままならないからこそ面白いし、また行きたいと思う。折を見てリベンジしたい。今回も色々な意味で楽しく、充実した山行でした。同行メンバーに感謝。

【感想】

館谷

初日は雷に怯え、二日目は猛烈な風に吹かれ、初めての白馬は、自然の恐ろしさを再認識させられるような山でした。

撤退の判断は間違っていなかったと思いますが、やはり悔しさが残ります。体力・技術を向上させ、来シーズン来チャレンジしたいです。館谷

亀山

合宿、お疲れさまでした。

現役の若手と合宿を共に出来、とても充実した時間をありがとうございました。

雪稜歩行下での強風とその後の天候と縦走路の状況予測には少々厳しいものが予測されたと思います。

前進を断念は、賢明な判断ではなかったかと評価したい。

これからも「安全登山」が絵に描いた餅であってはならない。

また一つ経験を積めた良い合宿だったと考える。

同行者と大自然に感謝！